

# もっと前へ

～ただひたすら前へ～

2 学年学年だより

R7.4.24 発行

若葉のさわやかな頃となりました。2年生がスタートして約1ヶ月が経とうとしています。学級の組織作りが終了し、当番活動や係活動などにおいて各自が自己の責任を果たそうとしている姿をよく見かけます。2年生として最初に迎えた行事「入学式」での姿もとても立派なものでした。まもなく正式入部となる1年生に指導している2年生の姿を見ていると、先輩としての自覚もずいぶんと育ってきたあ…と思います。「中だるみの2年生」と言われることが多い学年ですが、中堅学年として、この調子で頑張っていってほしいと思います。

## 5/21から体育祭に向けた動きがスタート！

### ●体育祭練習では「白のワンポイントTシャツ」の使用が認められました

体育祭練習では「白のワンポイントTシャツ（ワンポイントなしの白Tシャツも可）」が許可になりました。体操服だけでは足りない場合は、利用してください。ただし、体育祭当日は体操服を着用するようにお願いします。

5月とはいえ、日差しの強い中での練習（本番）になります。体調管理をしっかりとするとともに、熱中症の予防のためにも「水筒」を忘れないようにしてください。また練習中は、できるだけ帽子を着用するようにしてください。

### ●5項目をチェック！

- ①**頭髪**（目・耳にかからない、女子は肩にかかった場合は結ぶ）
- ②**ハチマキ・帽子**（忘れていないか・きちんと着用しているか）
- ③**つめ**（手のひら側から見えていないか）
- ④**靴下**（くるぶしが隠れているか）
- ⑤**靴**（運動に適したものか）

の5項目については毎朝、確認をしてから登校するようにしてください。安全面からも必ず確認してください。

### ●体育祭実行委員・応援リーダーが決まりました

## 5月の行事予定

1日（木）	教育相談	8日（木）	生徒委員会
2日（金）	教育相談	13日（火）	生徒総会リハーサル
3日（土）	祝・憲法記念日	14日（水）	生徒総会
4日（日）	祝・みどりの日	17日（土）	PTA 環境整備
5日（月）	祝・こどもの日	21日（水）	体育祭練習開始（結団式等）
6日（火）	振替休日	26日（月）	テスト範囲発表
7日（水）	教育実習開始～5/27 全校評議会	27日（火）	体育祭予行練習
		29日（木）	体育祭

### <保護者の方にお願ひ>

・過日配布いたしました修学旅行積立の申込は5月17日（土）までとなっております。お手続きの程、よろしくお願ひいたします。

## ＝日々雑感＝ 「後のカラス」・・・（学年主任より）

ある休日のこと。家の近くのスーパーへ買い物に行きました。買い物を済ませ、レジに向かうと自分が並んでいたレジに中止の札が…。仕方なく別のレジに並びました。私は前から3番目。しばらく順番を待っていると、先ほど並んでいた列の「レジ中止」の札が除かれ、店員が「お待ちのお客様はどうぞ～」と言うが早いのか、私の後ろ、列の最後尾にいた女性が、そのレジの先頭に立ちました。「う～ん、素早い！」と感心しながらも、なにか納得のいかない気分…。

たしか向田邦子さんのエッセイだったと思いますが『後のカラスが先になる』というような作品を以前読んだことがあります。「エレベーターを待って、一番最初に乗ったのに、どんどん奥に押し込まれ、降りる時は最後。エレベーターとは不可解な乗り物だ…」というような内容だったと思います。

かつて私にも逆の立場での苦い経験があります。もう30年近くも前のことですが、イタリアに行った時のこと。本場のジェラートを食べようとお店に入り、列の最後尾で順番を待っていました。しばらくすると隣のレジに店員がやって来て、お客を呼びました。まだ若かった私は、すかさず移動し、1番にジェラートを注文しました。次の瞬間、隣のレジで順番を待っていたアメリカ人らしき客が、私に向かって激しい口調でまくし立ててきたのです。英語のわからない私はチンプンカンプン…。でも、怒っていることだけは伝わってきます。あとで英語のわかる旅行添乗員に聞くと「オレの方が先に来て並んでいたのに、なぜ、あとから来たお前らが先に注文をするんだ。日本人は自分勝手だ！」というようなことを言っていたというのです。

このアメリカ人の抗議は、当然であり、私は自分のしたことを恥ずかしいと感じました。アメリカというと「自由の国」という印象が強いですが、自由を重んじるアメリカだからこそ、他人の権利や努力をそれ以上に尊重する慣習（ルール）があるのではないのでしょうか？

エレベーターで「後のカラスが先になる」ことは仕方ないことかも知れませんが、でも、佐倉東中学校では、いつでも一生懸命に努力した人が認められ、笑顔で生活ができる「先のカラスが先に行く」場であってほしいと願っています。